

若鯨会

を知る

in Nagoya

相談できる! 新商品のヒントがある! 経営について学べる! ビジネスチャンスが満載! 会員数は約500人!

遠藤 太一郎氏 インタビュー

AIの実証実験や教育業界への活用、
超知能リスクの解消など、時代の最先端の仕事を行なっている若鯨会7G遠藤 太一郎さんに
若鯨会の魅力について語っていただきました。

若鯨会に入会したきっかけは?

私は2017年、結婚を機に東京から名古屋へ移り住みました。仕事はリモートが中心で、加えてコロナ禍も重なり、ほとんど自宅にこもる生活が続きました。そんな時、すでに会員だった妻から若鯨会を紹介され、新たな繋がりを作りたいと思い入会しました。いくつかのグループを見学しましたが、入会前から交流の場を設けてくれるなど、特に手厚くフォローしてくれた第7グループに所属しています。

社業に若鯨会をどう活かすか

異業種の経営者と交流することで、新たな視点や価値観に触れ、自分の考えを客観的に見直す良い機会になっています。さらに、AI関連の講演依頼を若鯢会経由でいただくことも多く、経営や働き方にAIが与える影響について語る機会をいただいています。

若鯢会での学び

昨年度は委員会の副委員長を務め、イベントの運営も担当しました。委員会活動の時間を捻出するために海外出張のスケジュールを調整することもありました。AI業界でリモートが基本の私にとって、議事録を作成し、それを全員で読み合わせるといった会議スタイルは、自分の仕事とは異なる進め方を学ぶ貴重な経験となりました。

副委員長として活動する中で、グループ活動をしている時とは、物事の見え方が大きく変わると感じました。運営側とし

入会を検討されている方へ

て「いかに魅力的な会にするか」「参加者に何を提供できるか」を考えるようになり、自らの取り組みにも一層の意識が芽生えました。幹事会に代理出席する機会もあり、若鯢会全体の仕組みを理解する良い学びとなりました。

普段仕事をしている中では出会えない個性豊かな経営者と活動を共にし、人との関わり方も学ぶことができます。グループでの交流、運営への参画、それぞれに魅力があります。積極的に取り組むほど得られるものは大きいと感じています。ぜひ一步を踏み出し、経営に活かしていただきたいと思っています。



PROFILE

遠藤 太一郎 Taichiro Endo

昭和53年11月20日 (46歳)

株式会社カナメプロジェクト 取締役CEO
令和4年度入会

若鯢会で活動してみませんか?

満50歳未満の若手経営者が集う異業種交流団体。今年で43年目を迎え、創立以来自主運営で事業活動を行ない、会員の相互啓発と企業の持続的発展、地域経済の活性化への寄与を目的に活動しています。14のグループ活動を基盤に、グループ間の交流、そして全体交流事業を組み合わせ、会員企業の経営力・技術力・情報力を活用し合って相乗効果を発揮しています。

新入会員募集中

| お問合せ・お申込み先 |

名商中小企業部内 若鯢会事務局まで

Tel. 052-223-5634

| WEB |

<https://wakashachi.net/>

資料請求
はコチラ



フォロー
お願いします



Instagram始めました

情報発信をお楽しみに。